

## 五月女グループ



生コン プラント・ミキサー車

- 本社所在地：栃木県小山市大字下初田55-1
- 事業概要：持ち株会社  
生コンクリート製造販売、砕石・砂利採取、建材販売を展開する事業会社を傘下に持つホールディングス会社
- 常時使用する従業員：128名  
(グループ全体 2025年5月時点)
- 現在の売上高：59.6億円  
(グループ全体 2024年9月、10月、11月期)
- 法人番号：3060001030021
- WEBなし

### 企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長  
五月女 健

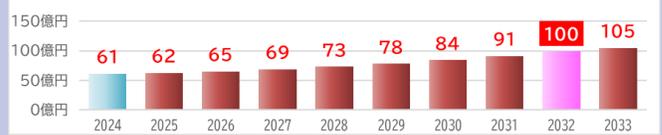
### 生コンで支える、北関東の未来とまちづくり

五月女グループは、生コンクリートを中心とした基礎資材の安定供給を通じて、北関東のまちづくりと産業基盤の整備を支える役割を果たしてまいりました。私たちの製品は、住宅や物流拠点、公共施設、道路・橋梁といった地域のインフラを支えるだけでなく、建設、運送、機械整備、資材流通といった関連産業へも広く波及し、地域経済の活性化に貢献しています。今後、さらなる需要拡大が見込まれるこの北関東エリアにおいて、2032年、グループ売上高100億円の達成を目指す「100億宣言」を掲げ、生産体制の強化、品質のさらなる向上、省力化と効率化、人材育成と営業力強化に取り組んでまいります。私たちは、生コン供給のプロフェッショナルとして、地域の未来を担う責任と誇りを胸に、これからも挑戦を続け、変化を恐れず、新たな価値の創造に取り組んでいきます。

### 売上高100億円実現の目標と課題

#### 実現目標

今後本格化する地域の大型建築プロジェクトを確実に捉えるべく、営業力と生産品質を一段と高め、供給体制を進化させます。挑戦を恐れず新たな価値創造に取り組むことで、2032年にグループ売上高100億円の実現を目指します。



#### 課題

- ・建設需要拡大に対応する生産能力と供給体制の強化
- ・製造・運搬に必要な人材の確保と技能伝承、若手育成
- ・品質確保と生産効率向上の両立
- ・営業力と提案力の向上による大型案件の獲得体制づくり
- ・生産現場における省力化・省人化の推進

### 売上高100億円実現に向けた具体的措置

#### 目指す成長手段

- ・(株)荒川沖建材店で新たなコンクリートプラントを建設し、供給力を強化する
- ・省人化を徹底し、一人当たり生産性を引き上げる
- ・品質で選ばれる企業として、生産工程と品質管理を徹底する
- ・大型プロジェクト参画を勝ち取る提案力を磨き上げる
- ・次世代を担う人材を育て、技能と誇りを未来につなぐ教育システムを構築する

#### 実施体制

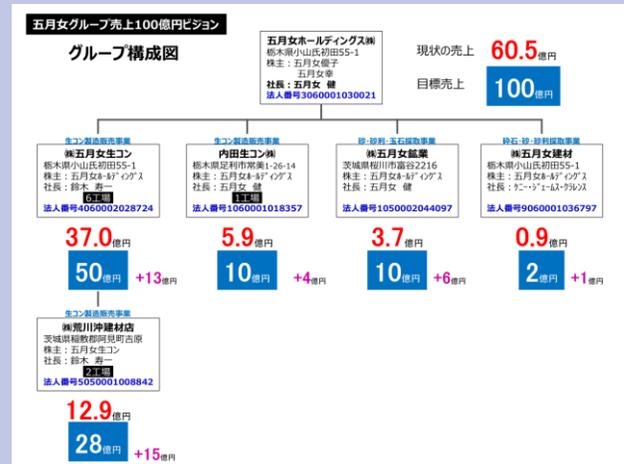
- ・地域密着型の営業戦略の展開とグループ横断の営業連携を強化し、受注情報の共有と対応スピードを向上
- ・若手人材の積極採用と技能伝承による人材育成の仕組みを確立（製造・品質・物流部門の人員強化と教育体系を標準化）
- ・(株)荒川沖建材店において、高強度コンクリートの大臣認定取得に向け、外部コンサルタントの支援を受け製造・品質管理プロセスを最適化（(株)五月女生コン 石下・水戸は取得済）

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

## 売上高100億円実現目標とグループ体制・需要予測

五月女グループは、生コンクリート製造を中心に、砕石・砂利採取、建材販売までを一貫して手掛ける基礎資材メーカーグループです。地域に根ざした各グループ会社は、長年にわたり地域との信頼関係を築き、M&Aによって加わった企業も、それぞれの地域特性を活かした事業展開を進めています。原料となる砕石・砂利の安定供給を担う五月女鉱業と五月女建材をはじめとする各社の連携によって、調達から製造、供給まで一貫した体制を構築し、安定した品質と供給力を実現しています。

生コン工場の配置と今後計画されている大型建築プロジェクトの立地が重なることで、当社はまさに北関東の建設需要の中心で、確かな供給者としてのポジションを確立しています。建設会社各社からは「安心して任せられる基礎資材メーカー」として、強い期待と信頼を寄せられています。私たちは、この環境を最大限に活かし、(株)荒川沖建材店での新プラントの稼働による供給力の増強、高付加価値製品の開発、営業力の強化と提案型営業への転換を加速することで、2032年にグループ売上高100億円の達成を力強く目指します。すでに目標達成に向けた課題は明確であり、成長シナリオには確かな実現性があります。地域のまちづくりを支える使命を胸に、私たちは挑戦を続け、未来へと進みます。



## 五月女グループ 生コン工場の配置 と 実施予定の大規模プロジェクト



## 五月女グループ需要プロジェクトマップ

年度	住宅・都市開発	物流・産業施設	公共インフラ/再開発	自衛隊・製造業関連	教育・福祉施設	脱炭素・防災・環境関連
2024	TX沿線マンション計画始動	圏央道沿線物流施設増設打診	土浦駅前再開発計画承認	百里基地関連の需要調査開始	学校老朽化対策計画整理	再エネ・防災拠点の初期調査
2025	つくばエリア住宅開発着工開始	物流倉庫新設開始	土浦駅前再開発着工	百里基地設備改修一部着工	学校改修・耐震工事一部開始	太陽光・風力関連施設一部着工
2026	つくば・土浦マンション供給ピーク	物流拠点拡充本格化	土浦再開発進行	百里基地整備本格化	学校改築進行	再エネ設備増設
2027	再開発エリア住宅拡大	館林エリアデータセンター建設着工	主要幹線道路補修	スバル本社改修着工(内田対応)	福祉施設新設ピーク	防災倉庫・避難所整備着工
2028	ART延伸に伴うマンション建設増加	館林DC建設ピーク	河川改修、堤防強化	百里基地工事進行	介護施設・特養新設	災害対策本部、備蓄施設整備
2029	都市開発需要高水準維持	DC・物流施設稼働、新案件波及	生活道路補修、公共施設建替	工場設備投資需要顕在化	老健施設建替、デイサービス拡充	防災関連工事需要高まる
2030	新築住宅需要高止まり	物流施設増設継続	道路・橋梁補修需要継続	自動車関連製造設備更新需要	福祉・教育施設改修続行	脱炭素型建設プロジェクト本格化
2031	マンション建設更新需要	新拠点開設に伴う建設需要	再開発エリア整備続行	百里設備更新続行	福祉施設・学校新設更新需要	環境型建材需要高まり
2032	更新・改築需要継続	物流施設老朽更新、新拠点波及	公共インフラ改修需要続行	製造業界設備更新波及	福祉・教育施設改修需要継続	災害対応力強化プロジェクト継続
2033	建設需要安定化	物流・産業施設も更新段階へ	公共工事・維持管理段階	継続的設備更新	福祉施設運営段階	環境・防災対応段階